



第81号

2010/12

進め！エコ公共交通車両「電気路線バス」

■カクカク シカジカ エコカー減税・・・♪ テレビから流れるこのメロディー。テレビにラジオ、新聞や雑誌で‘eco’という言葉を見聞しない日がない毎日。

個人や企業を問わず地球環境問題に取り組む事が大切な時代の中、公共交通機関としてもそれは絶対的使命であります。まずは利便性や魅力を高め、人々の移動を自家用車から公共交通へシフトさせる事により、温暖化ガス排出の軽減。そして何よりも公共交通車両自体から排出されるCO₂排出量削減。

本来、欧米の都市のようにLRT（次世代型路面電車）の路線整備を行う事が一番理想ではありますが、財源難などの理由で実現には少し時間がかかりそうな状況であります。そんな中、救世主となるべく天使のエコ車両が「電気バス」です。

■「電気バス」といってもトロリーバスの事ではありません。トロリーバスは架線から取った電気を動力として走るので、「電気バス」という表現に誤りはないのですが、今注目されている「電気バス」とは、車体に搭載された駆動用電池を動力として走るバスです。この「電気バス」ですが未だ営業運転を行っている街はないのですが、実用化に向け今年、富山市と大阪市で試験走行が行われました。また先日閉幕となった上海万博でも会場内の移動機関として活躍しました。「電気バス」は従来のディーゼルエンジンバスに比べCO₂排出量を約70%も削減できるだけでなく、走行音も静かで低騒音という長所もあります。今後は京都市、奈良市、青森市などでも実証実験が予定されており、支障なく充電・走行ができるかなどを検証し、早ければ2013年度にも実用化されるそうです。

■電気バスの営業運転は少しだけ未来の



話ですが岡山には今、世界で一番地球に優しいハイブリッド路線バスが走っているのを皆様にご存知でしょうか。その名は「SOLARVE（ソラビ）」号。白を基調とした車体で屋根には大きなソーラーパネルを搭載されている目立つバスなので、街中で見かけた方も多いのではないのでしょうか。実はこのハイブリッド路線バス、屋根に搭載されたソーラーパネルで作られた電気を室内灯（しかもLED）に使用しているのです。世界初の試みで環境に配慮された、晴れの国ならではの自慢の路線バスです。車内も白で統一され、ユニバーサルデザインを施した内装となっており、窓には紫外線（UV）カットフィルムを使用し、女性にも優しいバスとなっています。”現在岡山駅～西大寺（東区）間1日4往復を中心に運行されていますので是非ご乗車してみてください。”

■そんな公共交通と環境問題の関わりをテーマとした大会「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」が先日（11月27日）に岡山大学津島キャンパスにて開催されました。

本大会では公共交通だけでなく、自家用車や自転車などを含む「公共の交通」という広い視野でのこれからの交通の在り方をテーマとし提案や議論が行われました。特に路線バスやタクシーなどを含む電気自動車の開発状況や地域交通の整備に向けての法律制定などの動き等、具体的な発表があった事に大きな意義を感じます。私達には後世へ今よりより良いものを残していくという義務があります。よりよい地球環境を後世に残す為にも、進め！技術開発による「電気路線バス」の実用化。進め！エコ公共交通車両「電気路線バス」、街の中へ。（安藤 亮）

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索

詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで